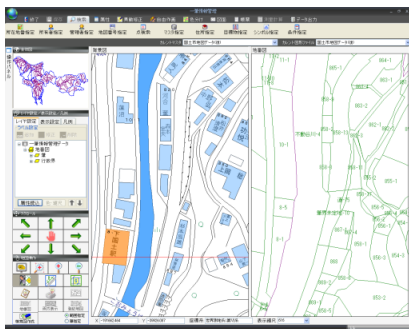




# KGS.一筆情報管理ソフト

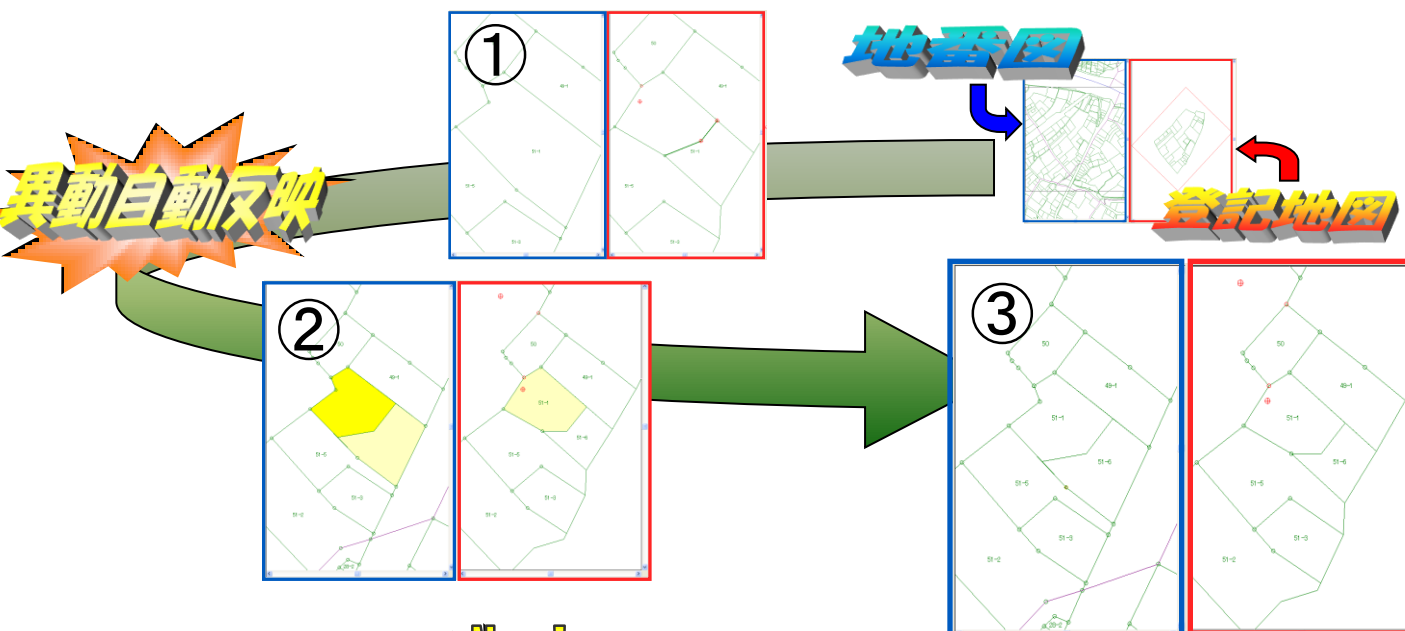
「一筆情報管理ソフト」はGISのベースとなる地図の維持管理を行います。取り扱う地図は地番図、住宅地図、地籍図など自由に選べます。全庁を網羅する地図情報を地番図や住宅地図で確認し、地図を構成する詳細な一筆情報は地籍図で管理。異なる地図を同時に管理する事が可能です。

## 地図の下には土地がある



普段頻繁に使用する住宅地図、地番図などの地図は、全庁の土地がつながって表現できますが、情報の更新が年に一度または数年に一度で、最新の情報がつかみにくく、また精度が求められません。一方、地籍図や土地改良図は、土地の境界が座標値管理されており精度は高いのですが、図面単位の地図で土地がつながっていません。私どもは地図とは精度ある一筆ずつの土地情報により構成されるものとして、「地図の下には土地がある」のコンセプトのもとに本システムをご提案いたします。

## 一筆情報管理ソフトの機能



図面の更新は一度で二枚 **New!**

異動自動反映の機能は、地籍図などの登記地図に異動処理をかけると、自動的に地番図などの全庁を網羅する地図に反映されます。異動処理を二度行う手間を省き、作業時間を大幅に削減します。

※特許出願中: 出願番号 2006-074304

## 異動自動反映の手順概要

- ① 登記地図に異動処理を実施 ⇒ 全庁地図への自動反映
- ② 登記地図と全庁地図の地番指示
- ③ 処理完了

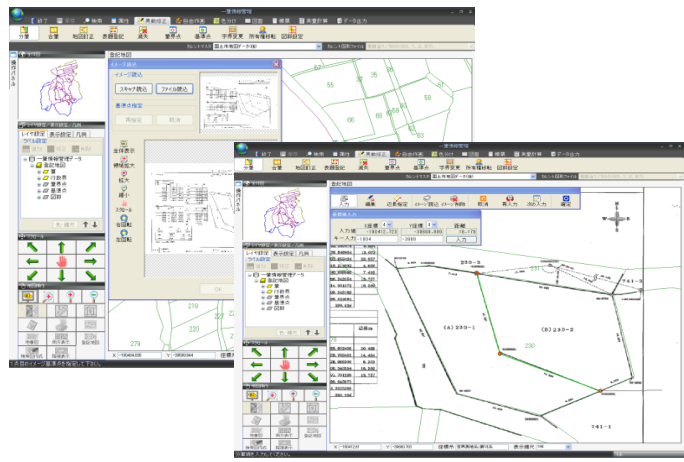


# <主な機能と特長>

## 異動更新と履歴管理

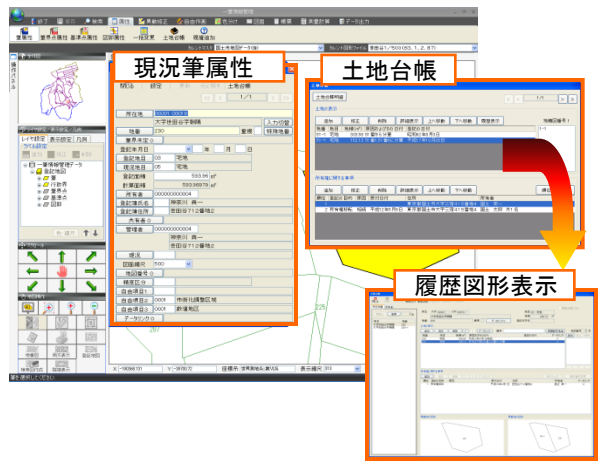
### イメージ分筆

図解法の地籍調査測量の為、異動通知簿の地積測量図の座標値と管理システムとの座標値にズレが生じる場合があります。その場合は、法務局土地情報管理システムでも使用されている「イメージ分筆」をご提案いたします。



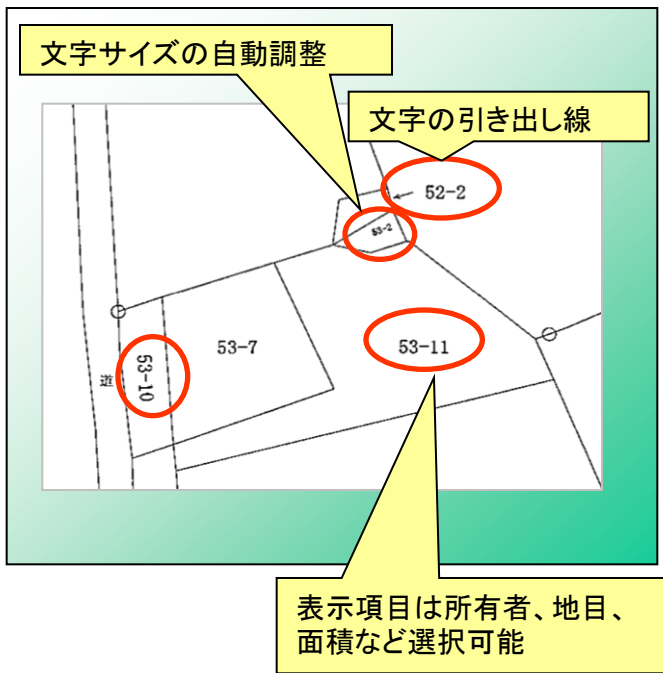
### 筆属性=土地台帳=土地の履歴

筆の情報として、沿革・履歴管理は重要です。本システムでは筆情報=土地台帳として、現況の情報だけでなく、土地台帳管理も同時に行います。土地に関する異動事項をクリックすれば、履歴図形の印刷も可能です。



## 図面出力機能

### 自動シミュレーション機能で手間いらず



### 住民交付用図面



### 現地調査図面

